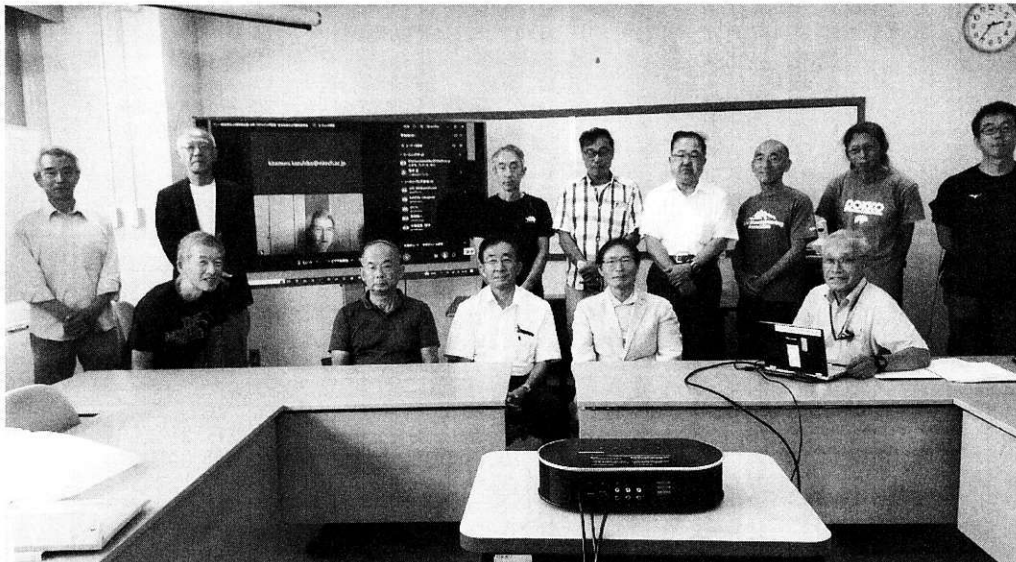


発行所 愛知県山岳・スポーツ
クライミング連盟
 発行人 伊藤 智彦
 編集人 中平等 新一
 名古屋市天白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◆11月23日「遭難防止を考える会」於・名古屋工業大学 <http://aichi-sangaku.main.jp/>

～愛知県山岳連盟の名称が変更になりました～

〔新名称〕一般社団法人 愛知県山岳・スポーツクライミング連盟



9月16日(土)午後2時から名古屋工業大学3号館において、一般社団法人愛知県山岳・スポーツクライミング連盟の設立総会が行われまし
た。設立時社員の伊藤智彦氏、星一男氏、栗木洋明氏の他、設立時の役員候補者など17人

が、名古屋工業大学の会議室およびweb会議システム上から参加しました。最初に司会者より出席者数が有効数を満たすと報告があり、議長には伊藤智彦氏を選出しました。
 第1号議案「一般社団法人愛知県山岳・スポーツクライミング連盟の設立趣旨について」において、伊藤智彦氏が「一般社団法人の設立母体となった愛知県山岳連盟は、昭和13年に「名古屋山岳連盟」として創立し、以来山岳・スポーツクライミング分野で重要な役割を担ってきた。ガバナンス強化を念頭に日本全国のスポーツ団体の法人化が進む中、愛知県山岳連盟も法人化をきっかけとして、山登りに関連するスポーツ活動を包括的に受け止められる組織へと成長していきたい。」と設立の趣旨を説明し承認されました。
 第2号議案では定款を審議し、第3号議案では主たる事務所の所在地を審議し、ともに承認されました。
 閉会后、引き続き一般社団法人愛知県山岳・スポーツクライミング連盟の設立時理事会が同所で開催され、一般社団法人における役員が選任されました。

- ◆愛知県山岳・スポーツクライミング連盟役員
 会長(代表理事)：伊藤智彦氏、
 副会長：星一男、栗木洋明、
 理事長：北村憲彦、副理事長：
 岩瀬幹生、鈴木清彦、理事：
 木田光彦、高木宏、中川邦仁、
 有富保之、佐橋秀男、石川哲、
 佐原晴人、倉要、谷澤昌夫、
 三嶋信、多田純一、今泉卓巳、
 宮森千治、荒川俊史、監事：
 安藤武典、西山秀夫
- ◆加盟団体
 愛知県高等学校体育連盟登山部、アイシン精機山岳部、イノアックコーポレーション山岳部、岡崎山岳会、蒲郡山岳会、春日井山岳会、中京山岳会、中央アルパインクラブ、トヨタ自動車山岳部、豊田自動車機豊友会山岳部、豊田山岳会、豊川山岳会、東海電々山岳会、名古屋山岳会、名古屋山の会、名古屋グルッペハイジ、名古屋溪稜会、名古屋登稜会、デンソー山岳部、ブラザー工業山岳部、碧稜山岳会、三菱電機名菱会山岳部、三菱重工名古屋山岳部、日本山岳会東海支部、名古屋這い松山岳会、安城こもれび会、豊橋山岳会、名古屋ACC、愛知学院大学学士山岳会、G・S・A、千種アルパインクラブ、MMC岡崎山岳部、犬山山岳会、やまびこ山想会、岩倉山岳会、東海白樺山岳会、名古屋愛山会、フェアリーロッククラブ、チーム猫屋敷、愛知スポーツクライミングクラブ

法人化を機にガバナンスの強化を！

代表理事(会長)

伊藤 智彦



愛知県山岳連盟は、令和5年9月16日の法人設立総会の決議を得て、10月2日を以って、一般社団法人を設立するとともに、団体名称を「一般社団法人 愛知県山岳・スポーツクライミング連盟」に変更しました。東海地区においては静岡県、三重県に続き3番目の法人化となりました。この法人化への変更は日本山岳・スポーツクライミング協会(JMSPA)の強い要請を受けたものであります。JMSPAは、都道府県山岳連盟に対し法人化と団体名称にスポーツクライミングを入れるよう、様々な会議を通じて要請を行ってきました。この動きはここ15年ほどの間に国内全体に進む、官公庁に属する各種団体や中央競技団体の法人化の流れの一環であります。近年のスポーツにおける不祥事の多発の要因は、組織

内のガバナンスに問題があるといわれています。ガバナンスの構築は中央競技団体だけではなく都道府県岳連にも求められているとしています。これを受け愛知県山岳連盟は山岳スポーツを統括する団体として、組織運営の透明性を確保し、ガバナンスの強化充実に努めることに責任をもつべきと考えました。特にスポーツクライミングが団体の山岳競技の種目であり、さらに五輪の正式種目となったことから、県内の統括団体として責任が問われていると思えます。愛知県は2026年にアジア大会の開催を予定しています。そのためにも愛知県山岳連盟の法人化は必要であります。

近年の山岳を取り巻く状況は刻一刻と変化しています。従来のアルパイン登山だけではなく、トレイルランニング・山岳オリエンテーリングなど山岳を楽しむことは多様化しています。またこれまでのような地域の団体に所属して活動するのではなく、未組織の個人の登山活動が活発になっています。このような状況は事故防止の観点から問題で

〔設立趣旨〕

文部科学省およびスポーツ庁が定めた第1期スポーツ基本計画に沿って、中央競技団体(NF)である日本山岳協会(JMA)は2013年4月に社団法人から公益社団法人になりました。

また、東京2020オリンピック競技大会を支えるNFの一つとして、スポーツクライミングも統括することを分かりやすく示すために、2017年4月に名称変更と定款や組織も整備し、現在の公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会(JMSPA)になりました。さらに、第2期スポーツ基本計画ではクリンでフェアなスポーツの推進の項目にスポーツ団体の健全な運営管理(ガバナンス強化)が盛り込まれ、日本全国のスポーツ等関連団体の法人化が一気に始まり、愛知県スポーツ協会内でもスポーツ団

体の法人化が進んでいます。愛知県山岳連盟は「名古屋山岳連盟」として1938年(昭和13年)4月に創立しました。1939年には御在所岳藤内壁に独自の山小屋である「北谷小屋」を建て、登山技術の向上に励み、自然保護・遭難対策・技術指導・海外登山の企画指導などを推進してきました。海外登山研究会を中心に幾多の海外高峰に挑み、近年においてはスポーツクライミングのトップ選手を輩出し、山岳・スポーツクライミングの分野で重要な役割を担っています。

近年の愛知県山岳連盟の状況を顧みますと、加盟団体の新規入会者の募集に苦勞し、構成員の高齢化や新型コロナウイルスによる感染の影響の長期化による加盟団体の活動の低下など様々な課題を多くのクラブ・団体も抱えています。一方では登山者のニーズの多様化が見られ、高い山の頂上を

す。登山者へどのように安全登山を求めていくかは山岳組織としての責任と考えます。この数年コロナの影響もあって、小中高校生の集団登山や、部活動登山は活動が低迷しています。指導者の不足も顕著になってきています。少年少女の育成については、現在小中学校の部活動は地域に

その中心が移行しつつあります。その流れは高校にも及んでくるでしょう。登山の場合、地域への移行は具体的にどうなるのでしょうか。不透明な今後を心配します。どのような若者に登山を知ってもらい登山人口を増やしていくのかは大きな課題となるでしょう。今後の岳連の活動を考えま

すと、このような時代の変化や課題に対応するために柔軟な考えを持ち、新たな活動に取り組みが必要だと考えます。

愛知県岳連の活動の軸は、加盟団体の皆さんの日頃の活動にあることは言うまでもありません。加盟団体の活動が安全に、より一層充実してい

目指す基本的な登山志向から、縦走登山・トレイルランニング・山岳マラソン・スポーツクライミング・自然のゲレンデでのクライミング・アイスクライミング・クロスカントリー・山岳スキー等々多様な登山形態があり、それぞれが日々進展、拡大していますが、組織に入ることを選択し、内向きで閉鎖的なことも多く見受けられます。

このような状況の中で、愛知県山岳連盟は、2021年7月に法人化準備委員会を立ち上げ、法人化に向けた定款案、財務を含む規程案などの業務整備を行って来ました。法人化をきっかけとして今後新たな発展を目指すべく将来構想を練り、組織を時代の変化に即したものに改め、山登りに関するスポーツ活動を包括的に受け止められる組織への成長およびそれを可能にする運営の健全化を図って参ります。

このように、愛知県山岳連盟は、2021年7月に法人化準備委員会を立ち上げ、法人化に向けた定款案、財務を含む規程案などの業務整備を行って来ました。法人化をきっかけとして今後新たな発展を目指すべく将来構想を練り、組織を時代の変化に即したものに改め、山登りに関するスポーツ活動を包括的に受け止められる組織への成長およびそれを可能にする運営の健全化を図って参ります。

きますよう期待しています。法人化を機にガバナンスの強化、充実を図り、組織の社会的信用力の向上に努め、登山・山岳スポーツ・スポーツクライミングの普及、振興をより一層推進することに主体

的に取り組んでいこうではありませんか。法人化はスタートしたばかり、今後多くの課題に直面すると思いますが、頑張ってくださいませう。今後皆さんのご理解ご協力をお願いいたします。

山岳レスキュー講習会(無雪期・西部地区)

GSA 多田純一

9月22日(金)〜24日(日)JMSCA 山岳レスキュー講習会(無雪期・西部地区)が富山県の国立登山研究所で開催されました。この講習会には3種類のクラスが設定されているが、今回私が参加したクラスはファーストエイドに重点を置いたクラスに参加してきました。

主な内容はファーストエイド、搬送法、ビバーク術で山岳ガイド、医師、看護師が講師陣となっており、山でのトラブルに対して実用的に学ぶことができたと思います。講習の流れとしては、それぞれ

の項目の基礎を身につけたあと、シナリオを数回実施しました。特にシナリオの実施は、実際身近にあり得るトラブルを再現して、受講生がそれに対応して行うもので基礎的知識、技術の他、状況判断

能力が養われるのでとても実用的な講習方法でした。山岳レスキュー全般に言えることですが、普段の登山では使わない技術、知識なので登山技術の中でも覚えにくいジャンルだと思います。受講生が自ら考え行動することによって身につけることが、一番記憶に残りやすかつ様々な状況に対応する力がつく講習方法でした。

山岳遭難の態様は道迷い、転倒、滑落がかなりの比率を占めているため登山者は優先的に転倒、滑落で起こしやす

い怪我に対応する方法を学んでおく必要があると思います。愛知岳連においても、登山におけるファーストエイドを中心とした講習会を開催する機会を増やして、遭難防止に役立てて行きたいと思いました。

愛知県山岳連盟臨時総会 II 岳連の解散を決議II

10月3日(火)午後7時から名古屋に於て、愛知岳連の臨時総会が行われ、この団体を解散して残余財産を先に設立した一般社団法人愛知県山岳・スポーツクライミング連盟へ移行する事を決議した。

臨時総会にはweb会議の参加者11名を含む30名が出席し、第1号議案令和5年度事業報告、第2号議案令和5年度決算報告及び監査報告、第3号議案令和5年度財産・備品報告、第4号議案令和5年度加盟団体報告、第5号議案では愛知岳連には負債はなく、預金一千七百七十七万二千四百一十円を始め、総額一千二百五十七万九千六百六十五円相当の残余財産があると報告され、これを一般社団法人愛知山岳・スポーツクライミング連盟に全額寄付することを議決しました。

続いて北村理事長が第6号議案の愛知県山岳連盟を解散する旨を述べ承認されました。

◆12月12日(火)
第2回加盟団体連絡会

印象に残った私の登山

『男子二十歳で 立山に登り一人前』 中平等 新一

私が生れた富山県で、昔から「男子二十になったら立山に登って一人前」という伝説があり、県民の男は二十歳になると挙って立山登山に出かけていきました。

北アルプス立山は標高3000米、それまで私の山登りは近郊の低山が主で、その時代は登山をする者は少なく、現在のようなガイドブックや装備はお粗末なものでした。

昭和30年夏、二十歳になった私は友達2人を誘って立山登山を計画。当時は電車で千寿ヶ原駅からケーブルで美女平、それからバスで終点弥陀ヶ原入口の弘法へ。

下車してまず目に飛び込んだのは広大な高原、すると突然濃霧に包まれ視界ゼロ、驚いていると瞬時に晴れ、遊歩道のここあそこにゼンテイカ(ニッコウキスゲ)やチンゲルマの群落、最初に憶えた高山植物の名前でした。

右方向に薬師岳、左に大日岳に見惚れながら歩いていると突然目の前に立山連峰が現われた。室堂に着くと澄みき

った紺碧の空に屹立する靈験あつたかな峰々、斜面にはまだ残っている雪の縞模様、そして頬をなでる冷気、この雄大で神秘的な初めて見る光景に私はたちまち惹かれていきました。

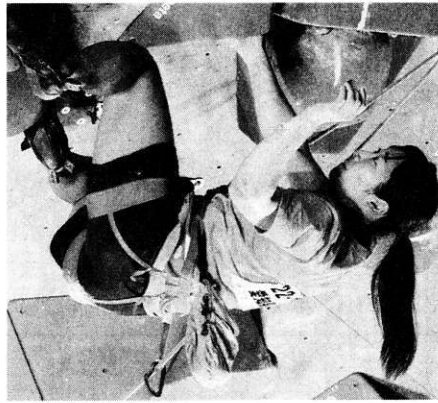
室堂から雄山への頂上は、辛い登りでみんな遅々とした歩きになり、登山者は殆んど若い男性ばかりでした。宿泊した室堂小屋は、平家建ての2棟で、宿賃と米3合?を払い、板の間に筵を敷いた部屋で、みんなすし詰状態で寝ていました。

現在、当時の山小屋はいまも健在で、使用していた古い道具や写真などが展示されています。

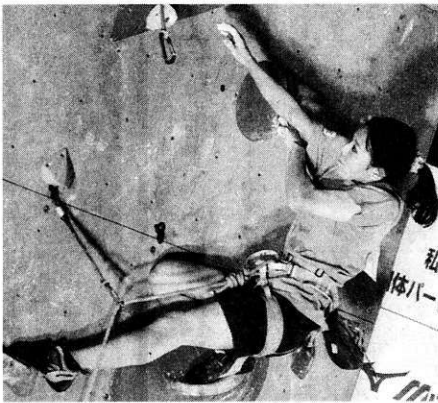
数年後、山好きが集まって男だけの山の会を作った。そのうち夜のトレッキングをすることになり、4人で勤務を終えて千寿ヶ原駅に集合し、駅の許可を得てケーブルカーの終電を待って、ケーブルの軌道を荷重のザックで登ることにした。暗闇の中、ヘッドランプを頼りに約1時間で美女平駅へ、それから車道を黙々と深夜まで歩いてテント泊したことが、60数年経ったいまも脳裡に残っています。

(やまびこ山想会)

「スポーツクライミング女子リード」 倉・高尾ペアが準優勝



成年女子リードで課題に挑む倉選手と高尾選手。いずれも鹿児島県南さつま市の特設スポーツクライミング会場で



一組のチーム戦。
ダイナミックな動きを得意とする倉選手、持久力が自慢の高尾選手は「優勝したかったから悔しいが、共にやりきった」と笑顔で語った。
また、翌日行われたボルダリング競技でも3位に入った。

10月7日から開かれていた特別国民体育大会（燃ゆる感動かごしま国体）で、スポーツクライミングの成年女子リードで倉菜々子選手（新東工業）と高尾知那選手（中京大1年）のペアが準優勝した。
高さ12m以上の壁をどこまで高く登れるかを競そうリード競技。国体では2人



植物学者・小野木三郎先生の 講演会を実施して！

自然保護委員長 栗木洋明

7月17日、愛知県岩倉市のアデリア総合体育文化センター多目的ホールにおいて、13時30分から15時までの日程で、テーマ「アルプの世界と私の山登り」+牧野富太郎博士との出会いとエピソードなど」と題した、90分の講演会を実施しました。

決めていたため、岳連主催の承認をいただいていたから講演実施までの準備期間が2週間しかないということでした。自然保護委員会の指導員や委員の方へのメール連絡はもちろん、岳連のホームページの掲載も依頼しました。

講演会実施のいきさつは、5月13日、14日に計画していた、第56回の自然観察会が39名もの参加予定者があったにもかかわらず、悪天候中止にせざるを得なくなったことがきっかけでした。岩倉山岳会の中に小野木先生と親しい方がみえ、手紙のやり取りの中で「小野木先生が自然観察会の夜の講演のために準備していた話をしたい。」と言っている見えますよ、という話を聞いたことが始まりで、「自然観察会当日、参加予定だった他の会の方々にも声をかけてみようよ。」と話が膨らみ、愛知県山岳連盟主催で講演会を実施する運びとなりました。
問題は、小野木先生に岩倉に来ていただく日程を事前に

県民の森で 高体連登山大会

専門委員長 石川 哲

5月27日・28日、愛知県民の森で県高等学校総合体育大会登山競技を開催した。愛知岳連の伊藤会長から開会式で

挨拶をいただいた。
昨年は3年ぶりにテント泊での大会を行ったが、今年はさらに4年ぶりに炊事審査も復活し、新型コロナウイルス流行以前の大会の水準に戻ることができた。男子は12チーム（内1チームは規定人数に足りないためオープン参加）、女子は6チーム（オープン参加2チ

「自然観察・自然保護に興味がある方はどなたでも参加できます」「参加費無料」としたことで山岳会関係者だけでなく、家族・友人・知人など、幅広い方々に声掛けをすることができたこと。小野木先生が以前にご指導されていた名古屋市内の自然観察の会にも話が広がり興味を持って

いただいたことなどが嬉しいし、申し込み者数が順調に多くなりました。
当日は熱中症の警戒アラートが発令される猛暑日となりましたが、当初の予定を超える102名の参加者があり、独特の小野木節が炸裂する、元気で活気のある楽しい会となりました。
自然保護委員会として初めての取り組みであり、良い機会をいただいたと思います。毎年というわけにはいかないとありますが、自然保護委員会の取り組みを、場所を変え、内容を変え、形を変えながら広くアピールしていくきっかけになったと思います。
愛知県山岳連盟の会長をはじめ、常任理事の皆様、自然保護委員会の委員・指導員の方々、ご協力・ご理解をいただきありがとうございます。

術・知識を競い合った。当日は天候に恵まれ、絶好の登山日和であった。

高校の登山大会は、決められたコースのタイムの他に、歩行技術の踏査ポイントも審査される。また、テント設置や炊事、装備の確認、計画書や行動記録、さらには、気象・救急・地形・天気図・植生などのペーパーテストも行われる。いずれも、安全登山のための基礎ができていくかどうかがチェックされ、県大会で優勝するチームでは100点満点換算で95点以上の点を得る。他競技の部活は大会での勝利を最終目標として「合宿」をすることが多いが、登山部は大会結果をふまえて改善をし、最終目標が「合宿」となる。とはいえ、大会上位をひとつの目標としていることは変わりがない。

今回の大会の結果は、男子の優勝は豊川・2位西尾・3位岡崎・4位菊里・5位旭丘、女子の優勝は岡崎・2位旭丘・3位西尾だったが、男女とも2・3位はまれにみる僅差であった。優勝校は8月に北海道の大雪山系で行われる全国総体に、2・3位は6月に静岡の金時山等で行われる東海総体に、愛知県代表として出場した。

夏の山岳遭難 最多738件

7・8月 コロナ制限緩和影響か

7月と8月に全国で起きた山岳遭難は738件(前年同期比70件増)、遭難者は809人(同23人増)で、いずれも統計がある1968年以降で最多だったことが、警察庁のまとめで分かった。担当者は「新型コロナウイルスの行動制限が緩和され、登山者が増えた影響とみられる」と話している。

都道府県別は長野が101件で最多。静岡76件、富山56件が続いた。態様別では「転倒」と「道迷い」で半数近くを占めた。死者・行方不明者は計61人(同16人増)だった。

水難事故は453件(同6件減)で水難者数は568人(同70人減)だった。都道府県別では東京の31件が最多。次いで岐阜28件、神奈川27件だった。場所は海が314人、河川が203人など。行為別では「水遊び」が160人で最も多かった。死者・行方不明者は236人(同8人増)で、中学生以下の子どもは16人(同7人増)だった。

確保技術講習会

1 鞍ヶ池公園

6月17日、18日に鞍ヶ池公園で確保技術講習会が開催されました。参加者は初級コース6名、上級コース10名、指導員13名でした。

開会式の後、全員で「肩がらみ」での制動確保を行ってから初級・上級コース別に分かれて講習を行いました。当日は天気は良かったですが、17日は風があり、18日は薄曇りだったため熱中症になる人も出ませんでした。講習生、指導員共に熱心で有意義な講習会になったと思っています。(指導員・高木 宏)

講習会に参加して

充実した2日間!

豊橋山岳会
米倉 晃

二日間の岩登りの確保講習(上級)に参加しました。クライミングを初めてまだ一年と経験が浅く、今回講習の内容である自己脱出や登り返しなど、なんとなく知識はあっても実践経験のない技術を学べる良い機会だと考えの参加でした。一日目は、まず肩がらみで

の制動から始まり支点構築、最後に自己脱出の手順の指導。二日目は、懸垂下降から始まり自己脱出の実践、ロープの登り返し、最後に懸垂下降途中のロープのコブの越え方を教わりました。

どれも実践してみるとまく行かないことも多く、メインロープでの支点構築や本などでは見たことのないフリクションヒッチなども教えて頂き充実した二日間でした。自分の技術にする為に何度も練習して、これからの山行に生かしていきたいと思えます。



冬山装備のメンテナンス工房

HAREYAMA

なにより「安全」のためです。命を守ってくれる相棒を大切に。

冬山装備のメンテナンス
アイゼン・ピッケル研ぎます



株式会社ウォームリンク
〒470-0135 愛知県日進市岩崎台 1-130

Tel. 0561-72-2805



hareyama.net

うなぎ錦三丁目 い ぼ しょう



〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目 13 番 22 号

TEL <052> 951-1166 番

営業時間 午前 11:00~午後 2:30

午後 4:00~午後 8:00

定休日 日曜日・第二・第三月曜日

解り易い丁寧な説明

大山山岳会

荒田 真功

今回、岩登りの確保(初級)に参加させていただきました。ネットで調べて一人で勉強すると、変な自己流になっ
てしまうのが怖く、敢えて何も勉強していかない状態で参加させていただきました。

講習内容は、肩絡み制動、道具の説明、装備の装着、基本的な結び方、アンカーと支点、自己確保、懸垂下降でした。参加された、私以外の方々は、何度か岩登りを経験されているようで、確認的な感じで講習を受けていたようですが、私には全く知らないことなので、覚えることがいっぱいでした。
しかし、丁寧な説明で、また理論を交えていることから

やまびこ山想会が 創立35周年記念行事

やまびこ山想会創立35周年行事が、9月30日と10月1日の両日、稲武町の岡田屋旅館で40名が参加して行われました。

初日の午前中は周辺の山に登り、午後は武典と会食を

解り易く、しっかりと記憶に残り易い講習でした。今回学んだことを、繰り返し練習し、実践し、次回は岩登りの確保(上級)に参加したいと思います。ありがとうございました。

理事会議事録

10月3日(火) 名工大、Web

(出席者) 対面: 安藤、西山、伊藤、星、栗木、北村、岩瀬、有富、石川、谷澤、三嶋、宮森、今泉。Web: 木田、高木、中川、多田

I 報告事項

1. 第4回登山勉強会・救助web(9/12) 木田、高木
2. 一般社団法人愛知山岳スポーツクライミング連盟設立総会、理事会(9/16) 伊藤
3. JMSCA無雪期レスキュー講習会(9/22) 24富

その後、各自団らんをし盛況裡に終えました。

分県登山ガイドII

「愛知の山」

9月に西山秀夫さん編著の「愛知の山」が刊行されました。本書は初版第3刷ですが前書の改訂版で、愛知の52山の内容が満載です。

1. 審議・お知らせ事項
2. 第78回国体鹿児島大会(10/8、10)
3. 第5回登山勉強会(10/11) 木田、高木
4. 救助技術研修・講習会(10/14、15 鞍ヶ池公園) 中川、有富、木田、高木
5. 安全登山指導者講習会東部地区(10/20、22 福島)
6. 第57回自然観察会(10/21 猪臥山) 栗木
7. 高体連秋期登山講習会(10/28、29 釈迦ヶ岳周辺) 石川、佐橋
8. 夏山リーダー養成講習会(10/28、29 丹沢)
9. JMSCA山での応急手当講習会(10/21、22 神奈川県立山岳スポーツセンター)
10. 鈴鹿山系連絡協議会(10/28 三重県菟野町) 岩瀬、中川
11. 高校選抜SC選手権大会(11/3)
12. 令和5年度登山技術に関する指導者の教育と研修、主任検定員養成講習会(A級)及びコーチ2養成講習会(11/4、5 浜松) 木田、高木
13. 高体連新人大会(11/18)

編集後記

13. 遭難防止を考える会、登山研修所友の会総会(11/23 国立登山研修所サテライトプラス) 北村
14. その他

■今年の夏は猛暑に集中豪雨が頻繁。どうやら地球温暖化が影響のようだ。世界のあちこちでも森林火災や猛暑で地球沸騰という言葉まで飛び出した。山でも雪渓減少で通行止めとか……?!

■10月2日から愛知岳連の名称が変わり、新しい組織が生まれました。コロナ禍などで登山活動も湿りがちだったが、今後の活動に期待したい。

■中国杭州アジア大会が閉幕した。次は3年後の愛知・名古屋大会だ。テレビ観戦だが改めて競技や参加者の多さに驚く。また開催経費や競技会場など課題多しだが、関係者にとってはこれからの正念場だろう!

■私事で恐縮ですが「愛知岳連ニュース」編集に携わって32年、この辺りで担当を交替させてもらうことになった。長い間のご協力有難うございました。(N)

～ アジア最大のスポーツの祭典 ～

第20回 アジア競技大会

(2026/愛知・名古屋)

日時 2026.9.19(土)～10.4(日)
会場 瑞穂公園陸上競技場 他
主催 アジア・オリンピック評議会

建設業許可を取りたい、日本国籍を取得したい(帰化)、遺言を公正証書で作成したい、戸籍謄本や除籍謄本を代行取得して欲しい、任意成年後見の相談をしたい、会計記帳を頼みたい等々

ご相談は行政書士の西山秀夫へ

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目21番21号
(地下鉄・久屋大通駅から2分) 丸の内東桜ビル1004号室

TEL: 090-4857-9130

URL: <http://www.nygs-office.com/>